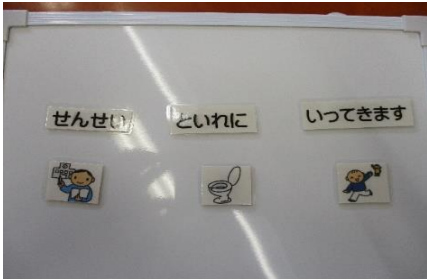
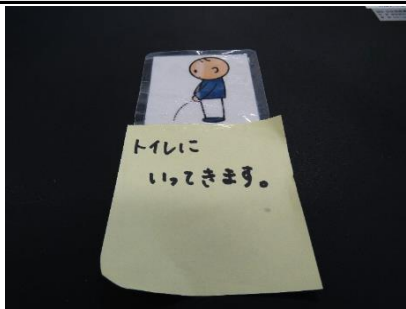


教材紹介（自立活動編）

1	手作りスクーターボード 	・楽しく主体的に前庭感覚や固有感覚を刺激して感覚統合を促し、状況に応じた反応や運動動作を引き出します。体幹を鍛えるのにも役立ちます。 ・ゲームやリレーなどの活動で応用でき、いろいろな使い方ができます。
2	筆記の補助具① 	・鉛筆などを持つ際に、手が紙や机から浮いてしまう子のために、手を置く場所をイラストで示し、突起部分を指導者が引いて誘導することで、手を紙に付けたまま動かす感覚が分かるようにしました。 ・子どもの好きなイラストにすると興味関心が高まり効果的です。
3	筆記の補助具② 	・鉛筆の持ち方が安定するように、ダブルクリップを取り付け、指の位置を分かりやすくし、しっかり持てるようにしました。 ・かわいい絵柄のダブルクリップなどを用意すると、やる気が上がります。
4	ボタン通し 	・ボタン通しの学習を通して、手元をよく見ることや、手指の使い方が身に付きます。 ・ボタンやボタンの穴の大きさを変えることで、難易度を変えられます。フェルトを使うと簡単にボタンの穴を作ることができます。
5	うちわのひも通し 	・目と手の協応動作や集中力を身に付けることをねらって製作しました。 ・数字を書いて、1から順番に通すなど、算数の学習にも広げることができます。また、通し方によっては、並縫い、まつり縫いなど、裁縫のステッチの練習ができる優れたものです。

6	りんごのスナップ 	・目と手の協応や手指の細かい動作が身に付くことをねらい、スナップの練習教材として製作しました。 ・りんごの色や数を工夫することで、算数や色の名称の学習に広げることができます。
7	クリップ・洗濯ばさみの付け外し 	・目と手の協応動作を身に付け、指先を使った作業に慣れることをねらいとしています。 ・卒業後の事務作業にもつながります。 ・クリップや洗濯ばさみの色や数を工夫することで、色の弁別、色の名称、数などの理解につながったり、挟むものや紙の枚数を変えると、難易度も調整できます。
8	ビー玉キャッチ 	・教師と向かい合って座り、教師が転がすビー玉をビー玉と同じ色のカップでキャッチします。 ・見る力や目と手の協応動作を高めることをねらいとしています。 ・教師が色名を伝えながら転がしたり、転がす速さや方向を変えるなど、難易度も調整でき、ゲーム感覚で楽しく取り組みます。
9	吹いて遊ぶおもちゃ 	・声を出すことに苦手意識をもっている児童が、遊びの中で、楽しみながら息をコントロールしたり、口周り機能を高めたりすることをねらいとしています。 ・息を吹くことで音が出たり、泡が長くつながったりするので、分かりやすく、楽しみながら取り組みます。
10	洗濯ばさみとカードのプットイン 	・カードから洗濯ばさみを外し、形や向きをよく見て穴に入れます。目と手の協応動作や手指の操作性、集中力を身に付けることをねらいとしています。 ・洗濯ばさみの穴を小さくすると、入れるときに指先の力がより必要となり、難易度を変えることができます。

11	ペグさし 	・丸、三角、四角の形の弁別と、大きさの違いを見分ける教材です。大きさの微妙な違いを感じられるように製作しました。
12	コミュニケーションボード 	・自分の要求や気持ちを相手に伝えることをねらいとして製作しました。 ・二、三語文で伝える学習にも使用できます。 ・平仮名が読める場合は、文字を読みながら伝える学習をします。
13	○△□チェーンつなぎ 	・形の認知の基礎として、○△□の形状のチェーンリングを指定された順番につなげていく教材。形や順番の認知面の学習とともに、つなぎ目とつなぎ目を合わせるため、目と手の協応動作の練習にもなる。 ・様々なビーズやチェーンリングを活用して、ブレスレットなどの飾りやアクセサリ作りに発展させていくこともできる。
14	はらぺこあおむしのひも通し 	・はらぺこあおむしのお話を思い出しながら、はらぺこあおむしが食べた順に紐通しを行う。児童が楽しみながら、目と手の協応動作に繋げることができる。
15	道具の使い方 	・写真と文で、道具の持ち方や動かし方を分かりやすくした。 ・〈はさみ〉、〈ホチキス〉、〈輪ゴム〉〈のり〉〈クリップ〉などについて制作。

16	表現カード 	・指示理解や意思表示の手立てとして活用する絵カードです。 ・種類や使用する場面ごとにリングでまとめると、持ち運びやすく、活用しやすくなります。
17	会話練習カード 	・生活の中で自然に会話ができるよう、イラストと会話文を組み合わせる表示します。 ・電子黒板のペンケースに「スイッチをつけてください。」の会話文を表記し、ペンを取る際に自然に言葉で伝えられるようにするなど、いろいろな場面で応用できます。
18	治具の色分け（トング使用） 	・4色の治具を4つの仕切りに色分けして、分別していくことで、色による仕分けや形の選別に繋げていく。 - また、トングを使うことで手指の操作性、巧緻性の向上をねらうことも兼ねている。
19	ビー玉迷路 	・ゲーム感覚で両手と目の協応動作を行ったり、力の調整をしたりすることをねらいとしている。 ・得点（数字）を通りながら、ビー玉をスタートからゴールまで運ぶ。コースを考えたり、得点の場所を変えたりすることができる。1つのビー玉でできたら2つに増やしたり、座ってできたら立って行ったりするなど、難易度を調整することもできる。
20	指先感触遊び 	・様々な感触をゆっくり少しずつ「すべすべ」「ざらざら」など、簡単な言葉掛けとともに、指先で触れながら、感触を味わって楽しむための教材。 ・他にも、スライム、粘土、ビニール、セロファン、紐、段ボール、プラスチック、発泡スチロールビーズ等、身近にある素材で、感触遊びとして応用できるものがたくさんある。